

令和2年度

## 仕様書

業務名 駒岡清掃工場クレーン設備整備業務

札幌市環境局環境事業部駒岡清掃工場

## 1 委託業務の概要

(1) 業務名 駒岡清掃工場クレーン設備整備業務

(2) 業務内容

本業務は、当該施設内に設置されているごみクレーン設備及び灰クレーン設備の点検整備を行うものである。

(3) 履行期間 令和2年4月6日から令和2年6月26日まで

なお、整備は、3(2)アに示す焼却炉停止期間内に実施すること。

(4) 履行場所 札幌市南区真駒内602番地 札幌市駒岡清掃工場

(5) 設備概要

- ・ごみクレーン : 2基
- ・灰クレーン : 1基

別紙1「機器仕様書」参照

(6) 業務範囲

別紙2「点検・整備項目」と別紙3「点検項目一覧」及び「図面」のとおり。

委託期間中は別途委託業務や当工場の整備作業があるので、施設管理担当者と日程等を協議の上、業務を行うこと。

(7) 再委託について

契約書に規定する「主たる部分」とは、次に掲げるものをいい、受託者は、これを再委託することはできない。

ア 総合的な業務履行計画及び進捗管理

イ 整備手法の決定及び技術的判断

なお、前述の「主たる部分」以外については、専門業者等への再委託を可能とするが、再委託する業務範囲および選考する業者について、事前に施設管理担当者の承諾を得ること。

また、業務全体の品質・安全確保ため、委託者との協議、他工事との調整、履行計画、工程管理、品質管理、安全管理、再委託業者の調整・指導監督等全ての面において、主体的な役割を果たすこととし、作業中は常に業務責任者が指揮・監督等の業務を行うこと。

(8) 用語の定義

本仕様書で用いる用語は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、平成30年版建築保全業務共通仕様書による。

## 2 一般事項

(1) 提出図書等

提出書類の様式については、事前に施設管理担当者に確認すること。

ア 業務着手時に提出するもの

- ・着手届、業務責任者指定通知書、業務責任者経歴書、業務日程表 各1部

着手届の余白部分に労働基準監督署からの「労働保険関係成立の証」受領印があること。

なお、上記保険成立印取得に時間要する場合は、「労働者災害補償保険関係成立証明書」を後日提出することも認めるが、その間現場での実作業は行えない。

受託者は業務責任者との雇用関係を証明するものを添付すること。

イ 現場作業前に提出するもの

事前に施設管理担当者に提出の上、承諾を得ることとし、内容に不足、疑義等があった場合には、承諾を得るまで作業はできないものとする。

- ・業務実施計画書 1部

(安全管理体制表、連絡体制表、履行体制表、資格者名簿、仮設計画、整備要領等)

ウ 現場作業中に提出するもの

- ・作業日報、週間予定表 各1部

エ 業務完了時に提出するもの

- ・業務報告書、業務記録写真 各2部

各業務ごとに整理し、一括提出すること。検査等に使用する測定機器等については、検査成績書及び校正履歴等の管理記録を併せて提出すること。

業務記録写真は、各整備の整備前、整備中、整備後を撮影すること。写真の大きさは、原則としてカラーサービス版(75×110)とし、写真はA4版縦に整理すること。

- ・業務完了届 1部

(2) 検査に使用する測定器及び計装用機器（以下、「測定器等」という）

- ・検査に使用する測定器等は、校正及び点検調整済みの機器とすること。
- ・測定器等は、その測定に必要とされる精度のものを使用すること。
- ・測定器等は十分な保管管理を行い、使用していない時は専用のケース及び場所に保管し、損傷等による測定値の誤りのないようにすること。
- ・測定器等を損傷させた場合及び誤測定が発生した場合は代替品により再測定を行うこと。

(3) 適用法令

ア 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、電気事業法、労働安全衛生法などの関係法令に基づいて業務を行うこと。

イ その他適用法令及び適用規格

- ・日本工業規格
- ・内線規程
- ・消防法
- ・建設業法
- ・その他関連法令、規格

(4) 業務条件

業務の実施時間帯は平日の8:30～17:00とする。それ以外で作業する場合は施設管理担当者と協議すること。

施設内への入退出場所・方法・時間については、施設管理担当者と調整し承諾を受けること。

(5) 業務責任者

ア 業務の実施に先立ち業務責任者を選任し、次の事項について書面をもって提出する。

なお、業務責任者に変更があった場合も同様とする。

- ・氏名、年齢、経歴書、受託者との雇用関係を証明する書類等

イ 業務責任者は常駐とし、業務担当者に作業内容及び施設管理担当者の指示事項等を伝え、その周知徹底を図ること。なお、常駐とは、実際に整備作業（資材・機材の搬入、仮設作業等を含む）が行われている期間を示し、以下の期間を除く。

- ・契約から現場施工に着手するまでの期間
- ・炉の切替期間等、整備作業が全面的に一時中止している期間

ウ 本業務期間中に別契約委託又は工事と重複する場合、他の業務責任者又は現場代理人との工程調整を図ること。

#### (6) 業務担当者

ア 資格者による作業が必要な場合、関係法令等に従い、適切に有資格者を配置すること。なお、資格者は重複しても差し支えない。

- ・第一種電気工事士
- ・非破壊検査資格者
- ・クレーン運転士
- ・玉掛け技能講習を修了した者
- ・その他関連法令等上で必要となる資格

#### (7) 建物内外施設等の利用

居室等の利用は出来ない。仮設事務所や資材置場等で必要とする用地については、施設管理担当者と十分協議し、当工場の運転管理に支障が生じないようにすること。業務に関係のない場所及び部屋への出入は禁止する。

#### (8) 安全衛生管理

業務責任者は、業務担当者の労働安全衛生に関する安全教育に努め、関係法令に従い作業環境を良好な状態に保つことに留意し、特に換気、騒音防止、照明の確保等に心掛けること。

#### (9) 火気の取扱

火気を使用する場合は、あらかじめ施設管理担当者の承諾を得るものとし、その取扱いに際しては十分注意すること。

#### (10) 喫煙の禁止

工場敷地内（車両内を含む）における喫煙は禁止とする。

#### (11) 服装等

業務関係者は、作業内容に適した服装・履物で業務を実施すること。

#### (12) 復旧

他の設備及び既存物件の損傷・汚染防止に努め、万一損傷又は汚染が生じた場合は、速やかに施設管理担当者へ報告するとともに、受託者の責任において原状復旧すること。

#### (13) 法定検査に係る業務

以下の機器の予定法定検査に当たり、「天井クレーンの定期自主検査指針」に従い作業・検査を実施し関係図書類を作成すること。

ア 検査対象機器

- ・No.1 ごみクレーン 有効期間満了日～令和2年5月29日
- ・No.2 ごみクレーン 有効期間満了日～令和2年5月29日
- ・灰クレーン 有効期間満了日～令和2年5月30日

イ 検査の立会

検査対象機器の法定検査に当たり、施設管理担当者の指示に基づき立会及び作業を行うこと。

### 3 特記事項

(1) 受託者の負担の範囲

受託者の負担の範囲は次による。

- ア 業務の実施に必要な車両に係る経費
- イ 業務の実施に必要な工具、校正証書付計測器等機材（機器付属品は除く）
- ウ 業務の実施に必要な消耗部品、材料、油脂等（支給品除く）
- エ 業務の実施に必要な事務所、便所等の仮設設備
- オ 業務の実施に必要な外線電話等の使用に係る経費
- カ 文具等の事務消耗品
- キ 日誌及び報告書の用紙、記録ファイル

(2) 業務条件

委託期間中において、焼却炉の運転休止に関する作業については施設管理担当者と綿密な調整を図ること。

ア 焚却炉等の予定停止期間

- 1号炉 令和2年5月6日～令和2年5月30日
- 2号炉 令和2年5月6日～令和2年5月30日
- 全停電作業 令和2年5月16日（土）

イ 本業務履行期間中における他予定業務等は次のとおりである。

- ・焼却設備中間整備業務
- ・電気設備点検業務
- ・ダイオキシン類濃度測定
- ・計装システム保守業務
- ・電油操作器整備業務
- ・塩化水素・ばいじん濃度計保守業務
- ・電動機整備業務
- ・灰固化処理設備整備業務

(3) ダイオキシン類ばく露対策

業務の履行にあたっては、「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類暴露対策要綱」（平成26年1月10日付基発第0110第1号）に基づき作業を実施するものとし、保護具は以下の管理区域別に、施設管理担当者の承諾を得て措置すること。

（管理区域）

場所名	管理区域	保護具レベル	備考
炉室内	1	1	
灰出し場	1	1	
灰ピット	2	2	

#### (4) 廃棄物の処理

業務の実施に伴う発生材の処理方法は以下のとおりとする。但し、仮設事務所から出る廃棄物及び仮設便所の処理費は、受託者の負担とする。

	発生材・廃棄物名	処理方法
ア	焼却可能なもの	施設管理者の指示する場所
イ	廃金属	"
ウ	廃油	"
エ	その他可燃物	"

#### (5) 完了条件

受託者は各設備・機器の整備終了後、個別機器の整備報告書等に基づく検査と試運転を行い、合格条件を満たしていることの確認を受けること。

##### ア 合格条件

- ・検査において不具合、不良箇所が発見されないこと。
- ・検査において不具合等が発見された場合は、直ちに原因の調査、報告を行い、その原因が受託者の責に帰するものである場合は、補修方法等について協議のうえ、受託者の責任により復旧し、再度、検査を受け不具合等が発見されないこと。

#### (6) 環境負荷の低減

- ア 本業務の履行においては、委託者である札幌市の環境マネジメントシステムに準じ、環境負荷の低減に努めること。
- イ 電気、水道、油等の使用にあたっては、極力節約に努めること。
- ウ 施設内清掃作業にあたっては、環境に配慮した資機材及び装備等を使用し、極力節約に努めること。
- エ 自動車等を使用する場合は、できるだけ環境負荷の少ない車両を使用し、アイドリングストップの実施など環境に配慮した運転を心がけること。
- オ 本業務の履行において使用する物品・材料等は極力環境に配慮したものを使用すること。
- カ 業務に伴い排出される廃棄物は極力、減量、リサイクルすること。

#### (7) その他

- ア 本仕様書に明記のない事項については、施設管理担当者と協議して決定すること。
- イ 疑義の発生についても前項と同様とする。
- ウ 支給材料は、数量、外観、機能検査を行い、疑義がある場合は直ちに施設管理担当者へ連絡すること。
- エ 点検・整備を行い不具合が見られた場合、設備管理担当者と十分協議し、補修・交換等の処置を施すこと。
- オ 点検・整備に伴う、クレーンの運転、分銅の運搬、玉掛け作業等は受託者が行うこと。

## 別紙1

## 機器仕様書

## 1 ごみクレーン(No.1・No.2)

メーカー	日立機電工業株式会社(現・株式会社日立プラントメカニクス) バケット部 極東サービス株				
品名	7.5t×22mGB付天井クレーン 電動油圧式ポリップバケット				
主要仕様					
定格荷重	巻上 7.5t	給電方式	3PNCT-3.5mm <sup>2</sup> ×13C $\phi$ 36×60m		
吊上荷重	巻上 13.7t (7.5+6.2)	操作方法	遠隔		
スパン	22m	走行レール	37kgレール		
揚程	35m	鋼索	JISG3525 第13号 6×Fi(29)B種		
巻上速度	0.95m/sec		裸普通Z Sヨリ		
横行速度	0.67m/sec		20 $\phi$ 4本掛 45.7m		
走行速度	1.0m/sec	バケット油圧シリンダ	$\phi$ 125× $\phi$ 70×380ST 6本		
開閉時間	開 約12.5 秒	取扱物	都市ごみ 見掛比重 0.3~0.5		
	閉 約18.5 秒	電源	AC400V 50Hz 3相		
電気機器仕様					
品名	項目	横行	走行	巻上	開閉
電動機	型式	TFO-KK	TFO-KK	TFO-KK	TFOA-KK
	出力	7.5kW	18.5kW	160kW	30kW
	回転数	1500rpm	1500rpm	750rpm	1500rpm
電動機制御	種類	インバータ	インバータ	インバータ	
	型式	SJ700-110HFF2	SJ700-300HFF2	SJ700-2200HF2PTD3	
ブレーキ	種類	電磁ブレーキ	電磁ブレーキ	ディスクブレーキ	
	型式	FS5-TDR4	FS10-TDR4	IB30-253	
制御器	型式	LUXL1BMB	LUXL1BMB	LUXL1BMB	LUXL1BMB
		A・C方向SCSN73	B・D方向SCSN73	A・C方向SCSN32	B・D方向SCSN74
抵抗器	型式			MC	
制限開閉器	型式			PYLG-44、ZNJ1-T2	

## 別紙1

## 機器仕様書

## 2 灰クレーン

メーカー	日立機電工業株式会社(現・株式会社日立プラントメカニクス) バケット部 福島製作所			
品名	4.5t×3.35mGB付天井クレーン 電動油圧式グラブバケット			
主要仕様				
定格荷重	巻上 4.5t	給電方式	3PNCT-3.5mm <sup>2</sup> ×13C φ36×42m	
吊上荷重	巻上 9.8t (4.5+5.3)	操作方法	遠隔	
スパン	3.35m	走行レール	30kgレール	
揚程	18m	鋼索	JISG3525 第13号 6×Fi(29)B種	
巻上速度	0.5m/sec		裸普通Z Sヨリ	
走行速度	1.0m/sec		22.4 φ 2本掛 27.9m	
開閉時間	開 約 8.0 秒	バケット油圧シリンダ	φ140×φ90×530ST 2本	
	閉 約 13.5 秒	取扱物	焼却灰 見掛け比重 ~1.4	
		電源	AC400V 50Hz 3相	
電気機器仕様				
品名	項目	走行	巻上	開閉
電動機	型式	TFO-KK	TFOA-KK	
	出力	7.5kW	75kW	22kW
	回転数	1440rpm	750rpm	
電動機制御	種類	インバータ	インバータ	
	型式	SJ700-110HFF2PT	SJ700-1100HF2PTD3	
ブレーキ	種類	電磁ブレーキ	ネガチブレーキ	
	型式	FS5-TDR4	AN2C-315-2	
制御器	型式	LUXLZ7B	LUXLZ7B	LUXLZ7B
		B・D方向SCSN73	A・C方向SCSN32	B・D方向SCSN75
抵抗器	型式			
制限開閉器	型式		PYLG-44	

## 別紙2

## 点検・整備項目

整備箇所		整備内容及び特記事項
1 ご み 受 入 ・ 供 給 設 備  No. 1 ・ No. 2	1 1 ご み ク レ ー ン 整 備 ( No. 1 ・ No. 2	<p>1 年次点検を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点検項目は別紙3「点検項目一覧」を参照のこと。</li> <li>・各軸受とギヤカップリングのグリス給脂を行うこと。</li> </ul> <p>2 制御盤の点検・清掃を行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共用保護盤、巻上制御盤、巻上・開閉制御盤、横行・走行制御盤、補助リレー盤、共通操作盤、自動制御盤、巻上・開閉操作盤、横行・走行操作盤、放電抵抗器（巻上、横行、走行）等の点検・清掃を行うこと。</li> <li>・点検項目は別紙3「点検項目一覧」を参照のこと。</li> </ul> <p>3 ロードセルの点検・測定</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) イニシャル値、入出力抵抗値、絶縁抵抗値を測定すること。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・バケットが着床した状態（ロードセル各1点計4点）とバケットを浮上させた状態の合計5点を測定すること。</li> </ul> </li> </ol> <p>4 前置増幅器の点検、調整</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 荷重計接続箱内にある前置増幅器の点検、整備を行うこと。</li> </ol> <p>5 クレーン荷重計の動作、調整、確認</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) コンパレータの調整を行うこと。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンパレータ調整時は過荷重値、着床値、不足荷重値、空荷重値を測定すること。</li> </ul> </li> <li>(2) クレーン荷重計中央CPU間の信号受渡し動作の確認を行うこと。</li> <li>(3) 操作盤のスイッチ、表示機の確認を行うこと。</li> </ol> <p>6 分銅による荷重試験、校正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無負荷、3.5t、7.5tの各荷重を吊上げて、試験、校正を行うこと。</li> </ul> <p>7 クレーン部品の交換を行うこと。 支給品一覧を参照</p> <p>8 減速機の油交換を行う。 支給品一覧を参照</p> <p>9 試運転調整を行うこと。</p>

## 別紙2

## 点検・整備項目

整備箇所		整備内容及び特記事項
1 ご み 受 入 ・ 供 給 設 備  整 備 ( No. 1 ・ No. 2 )	2	<p>1 バケット本体の点検・整備を行うこと。 点検項目は別紙3「点検項目一覧」を参照のこと。</p> <p>2 油圧ユニット及び油圧シリンダの部品の交換を行うこと。 支給品一覧を参照</p> <p>3 油圧ユニットの操作油槽の清掃・油交換を行う。(No.1のみ) 支給品一覧を参照</p> <p>4 シェルの補強用丸鋼の補修を行う。(No.1のみ) 支給品一覧を参照</p> <p>5 バケットの塗装を行うこと。 塗装の剥がれている箇所を行う。(ケレン: 3種B程度)</p> <p>6 試運転調整を行うこと。</p>

## 別紙2

## 点検・整備項目

整備箇所		整備内容及び特記事項
2 灰出し設備	1 灰クレーン整備	<p>1 年次点検を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点検項目は別紙3「点検項目一覧」を参照のこと。</li> <li>・各軸受とギヤカップリングのグリス給脂を行うこと。</li> </ul> <p>2 制御盤の点検・清掃を行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共用保護盤、巻上・開閉制御盤、走行制御盤、補助リレー盤、共通操作盤、巻上・開閉操作卓、走行操作卓、抵抗器、中継ボックス、走行放電抵抗器等の点検・清掃を行うこと。</li> <li>・点検項目は別紙3「点検項目一覧」を参照のこと。</li> </ul> <p>3 ロードセルの点検・測定</p> <p>(1) イニシャル値、入出力抵抗値、絶縁抵抗値を測定すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バケットが着床した状態（ロードセル各1点計4点）とバケットを浮上させた状態の合計5点を測定すること。</li> </ul> <p>4 前置増幅器の点検、調整</p> <p>(1) 荷重計接続箱内にある前置増幅器の点検、整備を行うこと。</p> <p>5 クレーン荷重計の動作、調整、確認</p> <p>(1) コンパレータの調整を行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンパレータ調整時は過荷重値、着床値、不足荷重値、空荷重値を測定すること。</li> </ul> <p>(2) クレーン荷重計中央CPU間の信号受渡し動作の確認を行うこと。</p> <p>(3) 操作盤のスイッチ、表示機の確認を行うこと。</p> <p>6 分銅による荷重試験、校正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無負荷、2.5t、4.5tの各荷重を吊上げて、試験、校正を行うこと。</li> </ul> <p>7 クレーン部品の交換を行うこと。</p> <p>支給品一覧を参照</p> <p>8 減速機の油交換を行う。</p> <p>支給品一覧を参照</p> <p>9 試運転調整を行うこと。</p>

## 別紙2

## 点検・整備項目

整備箇所	整備内容及び特記事項
2 灰出し設備 2 灰クレーンバケット整備	<p>1 バケット本体の点検・整備を行うこと。 点検項目は別紙3「点検項目一覧」を参照のこと。</p> <p>2 油圧ユニット及び油圧シリンダの部品の交換を行うこと。 支給品一覧を参照</p> <p>3 バケットの塗装を行うこと。 塗装の剥がれている箇所を行う。(ケレン: 3種B程度)</p> <p>4 試運転調整を行うこと。</p>
3 その他	<p>1 点検・整備を行い不具合が見られた場合、設備管理担当者と十分協議し、補修・交換等の処置を施すこと。</p> <p>2 性能検査(荷重試験を含む)に伴う、クレーンの運転、分銅の運搬、玉掛け作業等は受託者が行うこと。</p>

## 点検項目一覧

項目	点検・整備・測定項目	
ごみクレーン 年次点検項目 (機械関係)	A ランウェイ	1)レールの変形、磨耗、亀裂等の有無 2)建築梁の亀裂、発錆、損傷等がないこと 3)左右車輪止めの損傷等がないこと 4)スパン量測定 5)左右レールの高低差量測定 6)レールの勾配量測定 7)レールジョイントの食い違いの有無 8)レールジョイントの隙間の有無 9)うねり量測定 10)取り付けボルトの緩み、脱落の有無

## 別紙3

## 点検項目一覧

項目	点検・整備・測定項目	
ごみクレーン 年次点検項目 (機械関係)	<p>D 走行機械装置</p> <p>(車輪)            1)踏面の磨耗量測定            2)左右車輪の直径差測定            3)車輪軸受の磨耗量測定            4)フランジの変形量、磨耗量測定            5)フランジの損傷、変形、倒れ、摩耗及び亀裂がないこと</p> <p>(試運転)            1)異常音、発熱、振動等の有無            2)ブレーキの作動の良否</p> <p>E 巻上機械装置</p> <p>(電動機)            1)取り付け脚部の亀裂の有無            2)取り付けボルト、ナットの緩みと脱落がないこと</p> <p>(カップリング)            1)亀裂、損傷がないこと            2)キー及びキー溝の変形等の有無            3)軸心の通りの良否            4)カップリングゴムの磨耗の有無</p> <p>(ブレーキ)            1)ライニングの異常磨耗の有無            2)ディスク面の異常磨耗、亀裂等の有無            3)ピンまわり、オイルシールの磨耗等の有無            4)ブレーキパッドとディスクの間隔</p> <p>(ギヤー装置)            1)かみ合い状態の良否            2)ギヤー歯面の磨耗の有無            3)キーの緩み、抜け出しの有無            4)異音、発熱及び振動の有無            5)給油状態の良否            6)歯面の摩耗の有無            7)給油装置の良否</p> <p>(軸)            1)軸の損傷、変形、摩耗            2)軸を作動させ振れを調べる            3)キー及びキー溝の変形、キーの緩み、抜け出し</p> <p>(軸受)            1)発熱の有無            2)油中の異物混入がないこと            3)本体の破損、亀裂等がないこと            4)軸頭部の傷、磨耗等がないこと            5)ころがり軸受の異常がないこと            6)オイルシールの異常がないこと            7)給油装置の良否</p> <p>(ドラム)            1)溶接部の亀裂の有無            2)本体の損傷の有無</p> <p>(ワイヤーロープ)            1)ロープの構成等            2)ロープの状態            3)ロープの機体等への接触の状態</p> <p>(試運転)            1)異常音、発熱、振動等の有無            2)ブレーキの作動の良否            3)過巻防止装置の作動の良否</p>	

## 別紙3

## 点検項目一覧

項目	点検・整備・測定項目	
ごみクレーン 年次点検項目 (機械関係)	F 横行機械装置	<p>(電動機)            1)取り付け脚部の亀裂の有無            2)取り付けボルト、ナットの緩みと脱落がないこと</p> <p>(カップリング)            1)亀裂、損傷がないこと            2)キー及びキー溝の変形等の有無            3)軸心の通りの良否            4)軸頭部の亀裂、傷等がないこと</p> <p>(ブレーキ)            1)ライニングの異常磨耗の有無            2)ディスク面の異常磨耗、亀裂等の有無            3)ピンまわり、オイルシールの磨耗等の有無            4)ブレーキパッドとディスクの間隔</p> <p>(ギヤー装置)            1)かみ合い状態の良否            2)ギヤー歯面の磨耗の有無            3)キーの緩み、抜け出しの有無            4)異音、発熱及び振動の有無            5)給油状態の良否            6)歯面の摩耗の有無            7)給油装置の良否</p> <p>(車輪)            1)踏面の磨耗量測定            2)左右車輪の直径差測定            3)車輪軸受の磨耗量測定            4)フランジの変形量、磨耗量測定            5)フランジの損傷、変形、倒れ、摩耗及び亀裂がないこと</p> <p>(軸)            1)軸の損傷、変形、摩耗            2)軸を作動させ振れを調べる            3)キー及びキー溝の変形、キーの緩み、抜け出し</p> <p>(軸受)            1)発熱の有無            2)油中の異物混入がないこと            3)本体の破損、亀裂等がないこと            4)軸頭部の傷、磨耗等がないこと            5)ころがり軸受の異常がないこと            6)オイルシールの異常がないこと            7)給油装置の良否</p> <p>(試運転)            1)異常音、発熱、振動等の有無            2)ブレーキの作動の良否</p>
G 潤滑装置		<p>1)給油グリスの良否            2)配管、ホースの損傷、継手からの漏れの有無            3)取り付けボルト、ナットの緩み、脱落            4)油脂の劣化、異物混入状態</p>
ごみクレーン 年次点検項目 (電気関係)	A 電動機	<p>1)軸受のグリース状態の良否            2)スリップリングの変形、きず、リード線の接続端子の緩み            3)ブラシ及びビッグテールの摩耗、汚れ、締付部の緩み</p>
	B 配電盤類	<p>(配線用遮断機)            1)開閉動作の良否</p>

## 別紙3

## 点検項目一覧

項目	点検・整備・測定項目	
ごみクレーン 年次点検項目 (電気関係)	<p>B 配電盤類</p> <p>(電磁接触器)            1)ばねの折損及び腐食による劣化の有無            2)接点の荒れ、磨耗の有無            3)取付け部の緩みの有無</p> <p>(繼電器)            1)接触片の接触面の荒れ、摩耗の有無            2)ばねの折損及び腐食による劣化の有無            3)接点の磨耗の有無            4)取付けボルトの緩み、脱落の有無            5)うなりの有無            6)操作試験による正常作動</p> <p>(内部配線)            1)接続端子の締付け状態            2)配線、絶縁物の損傷、汚れ、劣化            3)電線引込口の被覆</p> <p>(制御器)            1)カム及びカムスイッチの接点磨耗の有無            2)復帰ばねの状態の良否</p> <p>(ボルト)            1)取付け部分の緩み、脱落</p> <p>C 集電装置</p> <p>(ケーブル等)            1)走行ハンガーレールの異常磨耗の有無            2)横行ハンガーレールの異常磨耗の有無            3)ケーブルハンガー及びローラの状態等の良否            4)ケーブル損傷の良否及び集電部の状態の良否</p> <p>D その他装置</p> <p>E 絶縁抵抗検査</p> <p>1)卷上、開閉、横行、走行、ケーブルリール、各回路1次側の 絶縁抵抗測定、電源電圧測定(±10%以内)</p>	
ごみクレーン 年次点検項目 (制御盤関係)	<p>A 電源電圧</p> <p>(電源電圧)            1)入力電源AC400V・50HZの測定(±10%以内)            2)直流電源DC+5Vの測定(±5%以内)            3)直流電源±24Vの測定(±5%以内)</p> <p>B インバーター</p> <p>(端子台)            1)端子締め付け状況の良否</p> <p>(部品外観)            1)変色・破損・腐食・異常音・異常発熱等の有無            2)塵埃の付着状況の有無</p> <p>(配線)            1)配線の変色・ヒビ割れ・外観等の良否</p> <p>(プリント基板)            1)表示ランプの点灯状況の良否            2)コネクターの接続状況の良否</p> <p>(接続)            1)各部コネクター・接続状況確認等の良否</p>	

## 点検項目一覧

項目	点検・整備・測定項目	
ごみクレーン 年次点検項目 (制御盤関係)	B インバーター	<p>(粉塵対策・冷却用ファン)            1)異常振動、異常音は無いか等の良否(手で回転させる)            2)接続部の緩みがないこと            3)エアーフィルターの汚れの有無</p> <p>(放電抵抗器)            1)端子締付け部分の緩みの有無            2)抵抗器の変色・破損等の有無</p> <p>(運転状態)            1)加速・減速・低速時の異常振動は無いか            2)運転は円滑か</p>
	C インバータ用 プログラマブル コントローラ	<p>(表示ランプ)            1)ランプ表示点灯の良否 (POW, RUN, ERR)</p> <p>(電池電圧)            1)LED表示コード確認の良否(コード71で異常)</p> <p>(端子・配線)            1)接続部の緩みの良否、配線の変色・ヒビ割れ等の有無</p>
	D 制御盤	<p>(電磁接触器)            1)取付状況の良否(緩み)            2)端子状況の良否(緩み・変色)            3)接点の良否(磨耗の有無チェック)            4)うなりの有無</p> <p>(補助繼電器)            1)取付状況の良否(緩み)            2)端子状況の良否(緩み・変色)            3)接点の良否(接点部分の黒化変色状況)            4)うなりの有無</p> <p>(部品外観)            1)変色・破損・腐食・異常音・異常発熱・塵埃付着等の有無</p> <p>(配線)            1)配線の変色・ヒビ割れ・外観等の良否</p>
	E 操作盤	<p>(コントローラー)            1)取付状況の良否(緩み)            2)端子状況の良否(緩み・変色)            3)接点の良否(磨耗の有無チェック)            4)動作状況の良否(0インターロック確認)            5)復帰ばねの折損及び腐食による劣化の有無</p> <p>(押し釦)            1)取付状況の良否(緩み)            2)端子状況の良否(緩み・変色)</p> <p>(表示ランプ)            1)表示ランプの点灯の良否</p> <p>(部品外観)            1)変色・破損・腐食・異常音・異常発熱・塵埃付着の等の有無            2)電源引込口の電線被膜の良否</p> <p>(配線)            1)配線の変色・ヒビ割れ・外観等の良否</p>

## 別紙3

## 点検項目一覧

項目	点検・整備・測定項目	
ごみクレーン 年次点検項目 (制御盤関係)	F 安全装置	1)各リミットスイッチ(巻上、横行、走行、乱巻)に変形、腐食、破損がないこと 2)衝突防止に変形、腐食、摩耗、破損がないこと
ごみクレーン 年次点検項目 (パケット関係)	ア 油圧ユニット	1)作動油量の良否 2)作動油圧力の設定、測定(セット値17.5MPa) 3)開閉速度量測定 4)リリーフバルブ作動の良否 5)電磁切替弁作動の良否 6)油圧ポンプ異常音の有無 7)ポンプ吐出高圧ホースの良否 8)高圧ホースー開側の良否 9)高圧ホースー閉側の良否 10)エアーブリーザーの良否 11)サクションフィルターの良否 12)温度計付油面計の良否 13)ユニット内部油漏れの有無 14)チェーンカップリングの良否 15)各部締付けボルトの緩みがないこと
	イ パケット	1)油圧シリンダ油漏れの有無 2)シリンダホースの良否 3)本体の外観状態の良否 4)メインピンの良否(カラーチェック) 5)シリンダーピンの良否(カラーチェック) 6)グリース給油状態の良否 7)各部締付ボルトの緩みがないこと 8)爪の状態・磨耗・曲り等の有無 9)爪の摩耗量測定(9箇所以上) 10)爪の補強用丸鋼磨耗状態の良否 (補強用丸鋼の磨耗が著しい場合は補修を行うこと) 11)吊下金具の曲がり、ピン穴磨耗量測定 12)吊下金具ピンの良否(カラーチェック)
	ウ 電気関係	1)過電流继電器の良否 2)タイマーの良否 3)開閉用コントローラの良否 4)開閉完了表示灯の良否 5)電動機(端子)の良否 6)コンセント(端子)の良否 7)ケーブルの状態の良否 8)ケーブル押えプラケットの良否 9)同上保護ホースの良否 10)各部締付ボルトの緩みがないこと
	エ その他	1)球面軸受及びエルボ等の良否 2)ガータ吊下部ボスの良否 3)ポンプ吸込側ホースの良否 4)圧力計取出口塞ぎプラグの良否 5)タンクドレンプラグの良否 6)配管アッセンブリの良否 7)クラック、亀裂がないこと 8)ガータ下部カバーの良否 9)ケーブルルグランド箱の良否 10)防水パッキン類の良否

## 点検項目一覧

項目	点検・整備・測定項目	
灰クレーン 年次点検項目 (機械関係)	<p>A ランウェイ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1)レールの変形、磨耗、亀裂等の有無</li> <li>2)建築梁の亀裂、発錆、損傷等がないこと</li> <li>3)左右車輪止めと左右エンドバッファの同時接触の良否</li> <li>4)スパン量測定</li> <li>5)左右レールの高低差量測定</li> <li>6)レールの勾配量測定</li> <li>7)レールジョイントの食い違いの有無</li> <li>8)レールジョイントの隙間の有無</li> <li>9)うねり量測定</li> <li>10)取り付けボルトの緩み、脱落の有無</li> </ul> <p>B クレーンガーター 及びサドル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1)構造部材の変形、ねじれがないこと</li> <li>2)構造部材の亀裂がないこと</li> <li>3)構造部材の腐食がないこと</li> <li>4)ガーター、サドル取付部、ガーター継手部のボルト等の良否</li> <li>5)塗装の剥離、うすれ等の有無</li> <li>6)ガーターのたわみの有無</li> <li>7)トロリフレームの変形、塗膜、ボルト等の良否</li> </ul> <p>C 走行機械装置</p> <p>(電動機)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1)取り付け脚部の亀裂の有無</li> <li>2)取り付けボルト、ナットの緩みと脱落がないこと</li> </ul> <p>(ギヤーカップリング)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1)亀裂その他損傷がないこと</li> <li>2)キー及びキー溝の変形等の有無</li> <li>3)軸心の通りの良否</li> <li>4)軸頭部の亀裂、傷等がないこと</li> </ul> <p>(ブレーキ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1)ディスク表面の磨耗、亀裂等の有無</li> <li>2)ライニングの異常磨耗の有無</li> <li>3)ピンまわりの磨耗の有無</li> <li>4)ブレーキパッドとディスクの間隔</li> </ul> <p>(ギヤー装置)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1)かみ合い状態の良否</li> <li>2)ギヤー歯面の磨耗の有無</li> <li>3)キーの緩み、抜け出しの有無</li> <li>4)異音、発熱及び振動の有無</li> <li>5)給油状態の良否</li> <li>6)歯面の摩耗の有無</li> <li>7)給油装置の良否</li> </ul> <p>(軸)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1)軸の損傷、変形、摩耗</li> <li>2)軸を作動させ振れを調べる</li> <li>3)キー及びキー溝の変形、キーの緩み、抜け出し</li> </ul> <p>(軸受)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1)発熱の有無</li> <li>2)油中の異物混入がないこと</li> <li>3)本体の破損、亀裂等がないこと</li> <li>4)軸頭部の傷、磨耗等がないこと</li> <li>5)ころがり軸受の異常がないこと</li> <li>6)オイルシールの異常がないこと</li> <li>7)給油装置の良否</li> </ul> <p>(車輪)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1)踏面の磨耗量測定</li> <li>2)左右車輪の直径差測定</li> <li>3)車輪軸受の磨耗量測定</li> <li>4)フランジの変形量、磨耗量測定</li> <li>5)フランジの損傷、変形、倒れ、摩耗及び亀裂がないこと</li> </ul>	

## 別紙3

## 点検項目一覧

項目	点検・整備・測定項目	
灰クレーン 年次点検項目 (機械関係)	C 走行機械装置  D 卷上機械装置  E 潤滑装置	<p>(試運転)            1)異常音、発熱、振動等の有無            2)ブレーキの作動の良否</p> <p>(電動機)            1)取り付け脚部の亀裂の有無            2)取り付けボルト、ナットの緩みと脱落がないこと</p> <p>(カップリング)            1)亀裂その他損傷等がないこと            2)キー及びキー溝の変形等の有無            3)軸心の通りの良否            4)カップリングゴムの磨耗の有無</p> <p>(ブレーキ)            1)ライニングの異常磨耗の有無            2)ディスク面の異常磨耗、亀裂等の有無            3)ピンまわり、オイルシールの磨耗等の有無            4)ブレーキパッドとディスクの間隔</p> <p>(ギヤー装置)            1)かみ合い状態の良否            2)ギヤー歯面の磨耗の有無            3)キーの緩み、抜け出しの有無            4)異音、発熱及び振動の有無            5)給油状態の良否            6)歯面の摩耗の有無            7)給油装置の良否</p> <p>(軸)            1)軸の損傷、変形、摩耗            2)軸を作動させ振れを調べる            3)キー及びキー溝の変形、キーの緩み、抜け出し</p> <p>(軸受)            1)発熱の有無            2)油中の異物混入がないこと            3)本体の破損、亀裂等がないこと            4)軸頭部の傷、磨耗等がないこと            5)ころがり軸受の異常がないこと            6)オイルシールの異常がないこと            7)給油装置の良否</p> <p>(ドラム)            1)溶接部の亀裂の有無            2)本体の損傷の有無</p> <p>(ワイヤーロープ)            1)ロープの構成等            2)ロープの状態            3)ロープの機体等への接触の状態</p> <p>(試運転)            1)異常音、発熱、振動等の有無            2)ブレーキの作動の良否            3)過巻防止装置の作動の良否</p> <p>1)給油グリスの良否            2)配管、ホースの損傷、継手からの漏れの有無            3)取り付けボルト、ナットの緩み、脱落            4)油脂の劣化、異物混入状態</p>

## 別紙3

## 点検項目一覧

項目	点検・整備・測定項目	
灰クレーン 年次点検項目 (電気関係)	A 電動機  B 配電盤類  C 集電装置  D その他装置  E 絶縁抵抗検査	<p>1)軸受のグリース状態の良否 2)スリップリングの変形、きず、リード線の接続端子の緩み 3)ブラシ及びビッグテールの摩耗、汚れ、締付部の緩み</p> <p>(配線用遮断機) 1)開閉動作の良否</p> <p>(電磁接触器) 1)ばねの折損及び腐食による劣化の有無 2)接点の荒れ、磨耗の有無 3)取付け部の緩みの有無</p> <p>(繼電器) 1)接触片の接触面の荒れ、摩耗の有無 2)ばねの折損及び腐食による劣化の有無 3)接点の磨耗の有無 4)取付けボルトの緩み、脱落の有無 5)うなりの有無 6)操作試験による正常作動</p> <p>(内部配線) 1)接続端子の締付け状態 2)配線、絶縁物の損傷、汚れ、劣化 3)電線引込口の被覆</p> <p>(制御器) 1)カム及びカムスイッチの接点磨耗の有無 2)復帰ばねの状態の良否</p> <p>(ボルト) 1)取付け部分の緩み、脱落</p> <p>(ケーブル等) 1)走行ハンガーレールの異常磨耗の有無 2)ケーブルハンガー及びローラの状態等の良否 3)ケーブル損傷の良否及び集電部の状態の良否</p> <p>1)警報装置各部状態の良否 2)照明装置取付状態の良否 3)シーケンサ表示確認の良否 4)インバータユニット等の良否</p> <p>1)巻上、開閉、走行、ケーブルリール、各回路1次側の 絶縁抵抗測定</p>
灰クレーン 年次点検項目 (制御盤関係)	A 電源電圧  B インバーター	<p>(電源電圧) 1)入力電源AC400V・50HZの測定(±10%以内) 2)直流電源DC+5Vの測定(±5%以内) 3)直流電源±24Vの測定(±5%以内)</p> <p>(端子台) 1)端子締め付け状況の良否</p> <p>(部品外観) 1)変色・破損・腐食・異常音・異常発熱・塵埃付着等の有無 2)塵埃の付着の有無</p> <p>(配線) 1)配線の変色・ヒビ割れ・外観等の良否</p>

## 別紙3

## 点検項目一覧

項目	点検・整備・測定項目	
灰クレーン 年次点検項目 (制御盤関係)	B インバーター	<p>(プリント基板)            1)表示ランプの点灯状況の良否            2)コネクターの接続状況の良否</p> <p>(接続)            1)各部コネクター・接続状況確認等の良否</p> <p>(粉塵対策・冷却用ファン)            1)異常振動、異常音は無いか等の良否(手で回転させる)            2)接続部の緩みがないこと            3)エアーフィルターの汚れの有無</p> <p>(放電抵抗器)            1)端子・配線に異常等の有無            2)抵抗器の変色・破損等の有無</p> <p>(運転状態)            1)加速・減速・低速時の異常振動は無いか            2)運転は円滑か</p>
	C インバータ用 プログラマブル コントローラ	<p>(表示ランプ)            1)ランプ表示点灯の良否 (POW、RUN、ERR)</p> <p>(電池電圧)            1)LED表示コード確認の良否(コード71で異常)</p> <p>(端子・配線)            1)接続部の緩みの有無、配線の変色・ヒビ割れ等の有無</p>
	D 制御盤	<p>(電磁接触器)            1)取付状況の良否(緩み)            2)端子状況の良否(緩み・変色)            3)接点の良否(磨耗の有無チェック)の良否            4)うなりの有無</p> <p>(補助繼電器)            1)取付状況の良否(緩み)            2)端子状況の良否(緩み・変色)            3)接点の良否(接点部分の黒化変色状況)            4)うなりの有無</p> <p>(部品外観)            1)変色・破損・腐食・異常音・異常発熱・塵埃付着等の有無</p> <p>(配線)            1)配線の変色・ヒビ割れ・外観等の良否</p>
	E 操作盤	<p>(コントローラー)            1)取付状況の良否(緩み)            2)端子状況の良否(緩み・変色)            3)接点の良否(磨耗の有無チェック)            4)動作状況の良否(0インターロック確認)            5)復帰ばねの折損及び腐食による劣化の有無</p> <p>(押し鉗)            1)取付状況の良否(緩み)            2)端子状況の良否(緩み・変色)</p> <p>(表示ランプ)            1)表示ランプの点灯の良否</p> <p>(部品外観)            1)変色・破損・腐食・異常音・異常発熱・塵埃付着の等の有無</p>

## 別紙3

## 点検項目一覧

項目	点検・整備・測定項目	
灰クレーン 年次点検項目 (制御盤関係)	E 操作盤  F 安全装置	(部品外観) 2)電源引込口の電線被膜の良否  (配線) 1)配線の変色・ヒビ割れ・外観等の良否  1)各リミットスイッチ(巻上、走行、乱巻)に変形、腐食、破損がないこと 2)衝突防止に変形、腐食、摩耗、破損がないこと
灰クレーン 年次点検項目 (パケット関係)	ア 油圧ユニット  イ パケット  ウ 電気関係  エ その他	1)作動油油量の良否 2)作動油圧力の設定、測定(セット値20.5MPa) 3)開閉速度量測定(基準値 開8.0sec 閉13.5sec) 4)リリーフバルブ作動の良否 5)電磁切替弁作動の良否 6)油圧ポンプ異常音の良否 7)ポンプ吐出高压ホースの良否 8)高压ホースー開側の良否 9)高压ホースー閉側の良否 10)エアーブリーザーの良否 11)サクションフィルターの良否 12)温度計付油面計の良否 13)ユニット内部油漏れの有無 14)チェーンカップリングの良否 15)各部締付けボルトの緩みがないこと  1)油圧シリンダ油漏れの有無 2)シリンダホースの良否 3)本体の外観状態の良否 4)コネクチングバーの良否 5)メインピンの良否(カラーチェック) 6)シリンダーピンの良否(カラーチェック) 7)コネクチングバー・ピンの良否 8)グリース給油状態の良否 9)各部締付ボルトの緩みがないこと 10)爪の状態・磨耗・曲り等の有無 11)吊下金具の曲がり、ピン穴磨耗量測定 12)吊下金具ピンの良否(カラーチェック) 13)パケット底板量測定(24箇所以上、元板厚9mm)  1)過電流継電器の良否 2)タイマーの良否 3)開閉用コントローラの良否 4)開閉完了表示灯の良否 5)電動機(端子)の良否 6)コンセント(端子)の良否 7)ケーブルの状態の良否 8)ケーブル押えプラケットの良否 9)同上保護ホースの良否 10)各部締付ボルトの緩みがないこと  1)球面軸受及びエルボ等の良否 2)ガータ吊下部ボスの良否 3)ポンプ吸込側ホースの良否 4)圧力計取出口塞ぎプラグの良否 5)タンクドレンプラグの良否 6)配管アッセンブリの良否 7)クラック、亀裂がないこと 8)横架材吊下げピンの良否(カラーチェック) 9)ガータ下部カバーの良否 10)ケーブルグランド箱の良否 11)防水パッキン類の良否



## 支給品一覧 (2/3)

### ごみクレーンバケット交換部品 (No.2)

	品 名	規 格 ・ 仕 様	数量
1	リターンフィルタエレメント	FR12-040SW-S	1個
2	注油口付エアブリーザ用エレメント	MSA-C50T用	1個
3	サクションフィルタエレメント	P-VN-16A-150W	1個
4	チェーンカップリング用パッキン類	オイルシール、パッキン	1組
5	ジョイントダンパー	PSD-2	1個
6	転倒検出器	OMRON、型式WLNJ、IP67、AC125-500V	1個
7	高压ゴムホース	SWP210-25-1100L GKC1004-25	1本
8	高压ゴムホース	SWP70-19-580L GKC1004-19	1本
9	高压ゴムホース	SWP210-6-450L GKC1004-6	1本
10	高压ゴムホース	NWP210-38-1070L GKC1004-38	1本
11	高压ゴムホース	SWP70-6-470L GKC1004-6	1本
12	高压ゴムホース	SWP21S-19-1150L 1004-19全SP付	1本
13	高压ゴムホース	SWP21S-19-1100L 1004-19全SP付	1本
14	高压ゴムホース	SWP21S-19-1270L 1004-19全SP付	2本
15	高压ゴムホース	SWP210-12-1000L 1004-12全SP付	4本
16	高压ゴムホース	SWP210-12-1100L 1004-12全SP付	4本
17	高压ゴムホース	SWP210-12-1700L 1004-12全SP付	2本
18	高压ゴムホース	SWP210-12-1900L 1004-12全SP付	2本
19	可変容量油圧ポンプ	FZD-4438M-2	1台
20	油圧シリンダパッキンセット		1組
21	シェル		6本
22	メインピン	φ 80×470	6個

### 灰クレーン交換部品

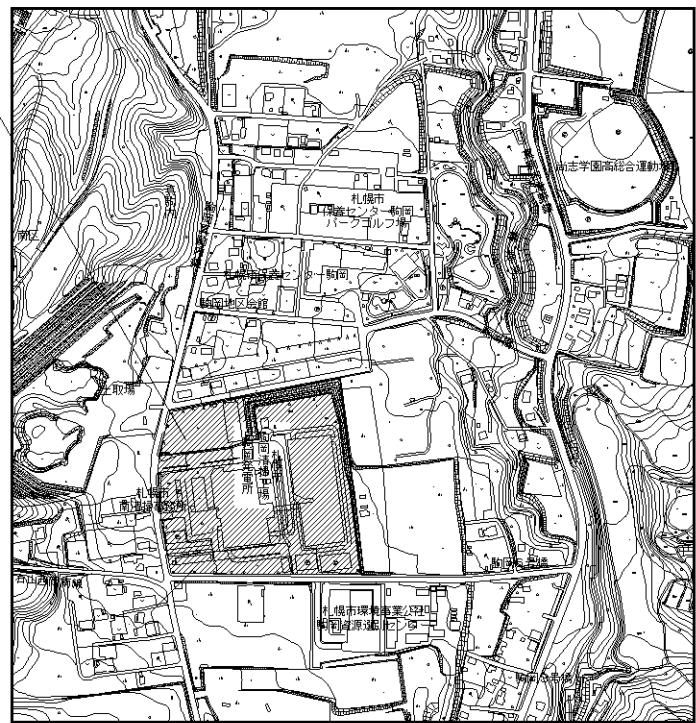
	品 名	規 格 ・ 仕 様	数量
1	グリス (ギヤカップリング)	ダフニーエポネックス SRN0.1 400g入	6本
2	グリス (軸受)	ダフニーエポネックス SRN0.0 400g入	6本
3	巻上減速機油交換	スーパーギヤオイル #460	76ℓ
4	走行減速機油交換	スーパーギヤオイル #460	4.5ℓ
5	巻上リミットスイッチ減速機油交換	スーパーギヤオイル #150	0.4ℓ
6	フレキカップリングボルト	走行用、M10	8本
7	フレキカップリングボルト	巻上装置	8本
8	タイミングベルト	遠心力開閉器用、UタイプT10-25-105	1本
9	乱巻き検出器	1LS1-J	1個
10	ケーブルリールバネ	D80E7用	7個
11	支持ワイヤ	φ 22.4×27.9m、S巻、6×Fi(29)B種	1本
12	支持ワイヤ	φ 22.4×27.9m、Z巻、6×Fi(29)B種	1本
13	ワイヤーソケット	T24 1605	2個
14	ワイヤクリップ	ワイヤー φ 22用	4個

### 支給品一覧 (3/3)

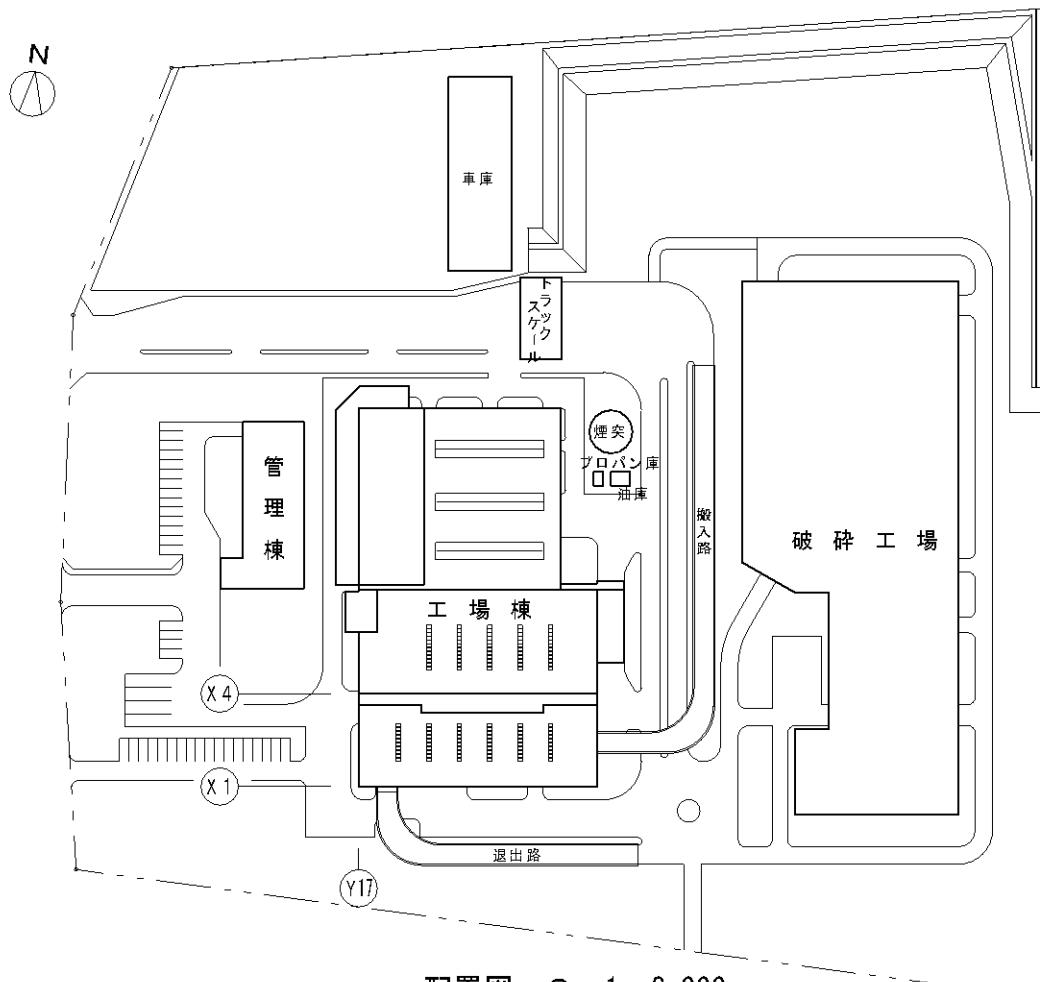
#### 灰クレーンバケット交換部品

	品 名	規 格 ・ 仕 様	数量
1	リターンフィルタ用エレメント	R10-40P	1個
2	チェーンカップリング用パッキン類	オイルシール、パッキン	1組
3	高压ゴムホース	OMB20F-12-570L 1005-1005	2本
4	高压ゴムホース	OMB20F-12-860L 1005-1005	1本
5	高压ゴムホース	OMB20F-12-930L 1005-1005	1本
6	高压ゴムホース	OMB20F-04-470L 1005-1005	1本
7	高压ゴムホース	OMB20F-04-490L 1005-1005	1本
8	高压ゴムホース	OMB20F-04-790L 1005-1005	1本
9	高压ゴムホース	OMB20F-16-1320L 1005-1005	1本
10	高压ゴムホース	NWP140-19-620L 1005-1005	1本
11	高压ゴムホース	NWP140-25-410L 1005-1005	1本
12	耐油性パッキン	G300453×2 (上部カバー用)	1枚
13	耐油性パッキン	4G09146-2 (点検蓋用)	2枚
14	耐油性パッキン	4G05292-2 (接続箱蓋用)	1枚

履行場所：札幌市南区真駒内602番地



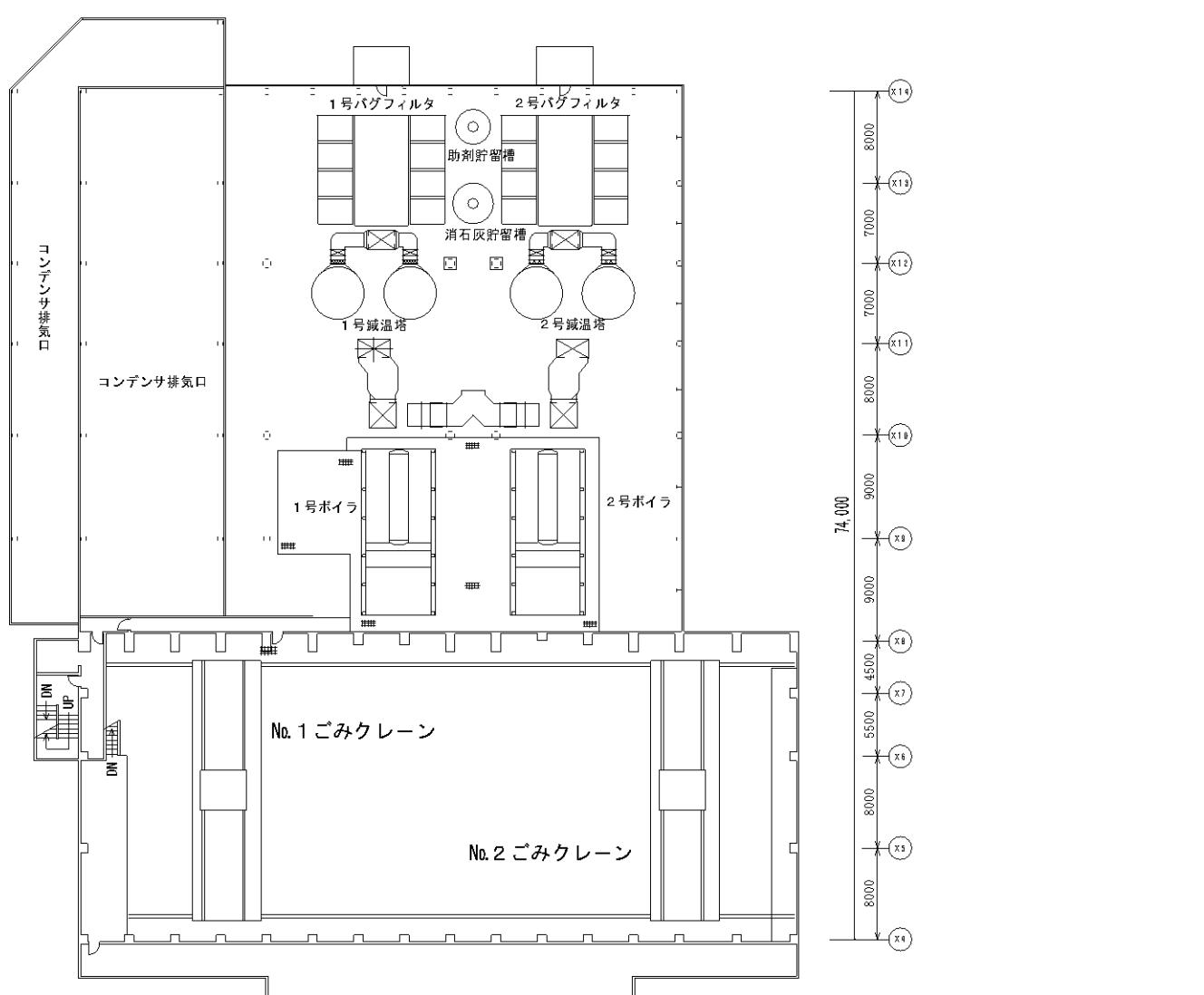
位置図 S=1:10,000



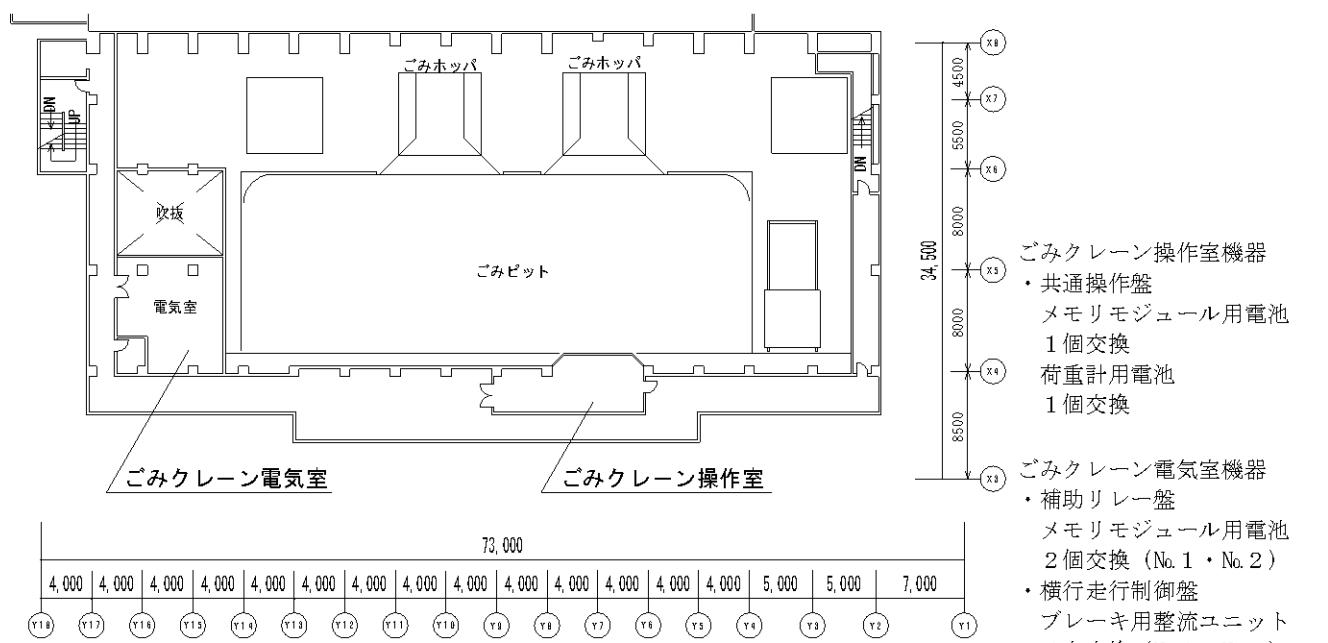
配置図 S=1:2,000

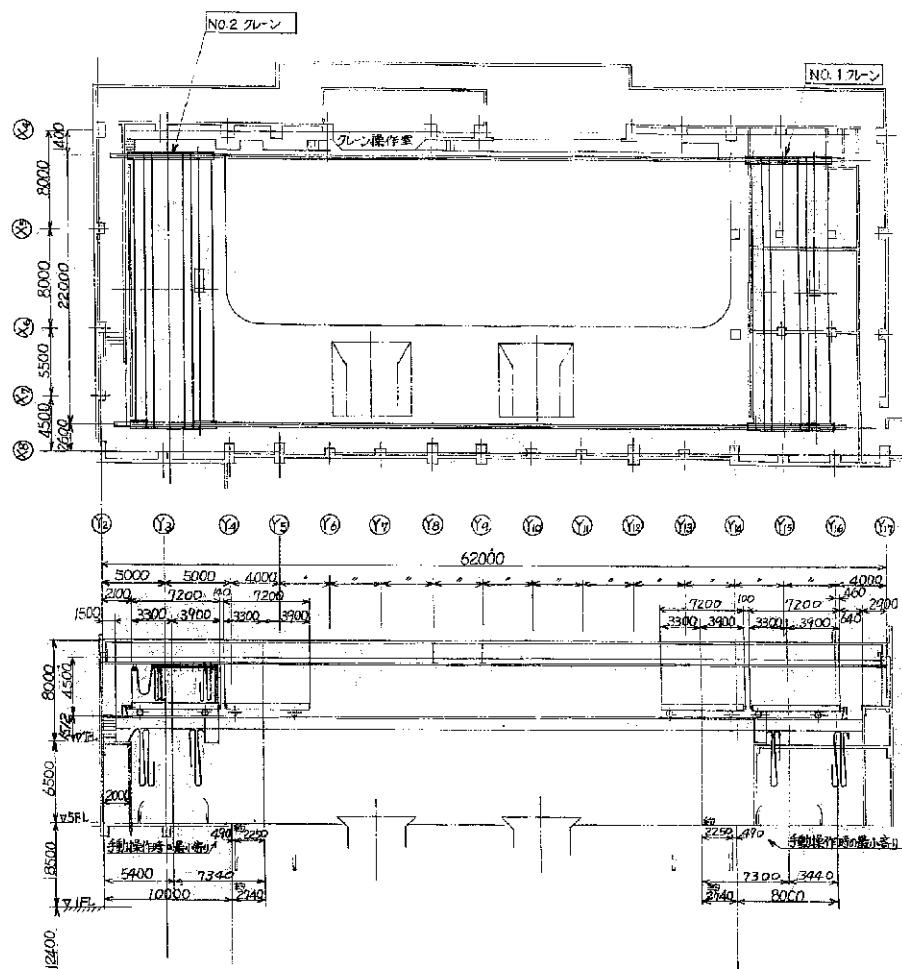
札幌市環境局環境事業部

課名	業務名	SCALE 図示
駒岡清掃工場	駒岡清掃工場クレーン設備整備業務	
図面名	位置図、配置図	1

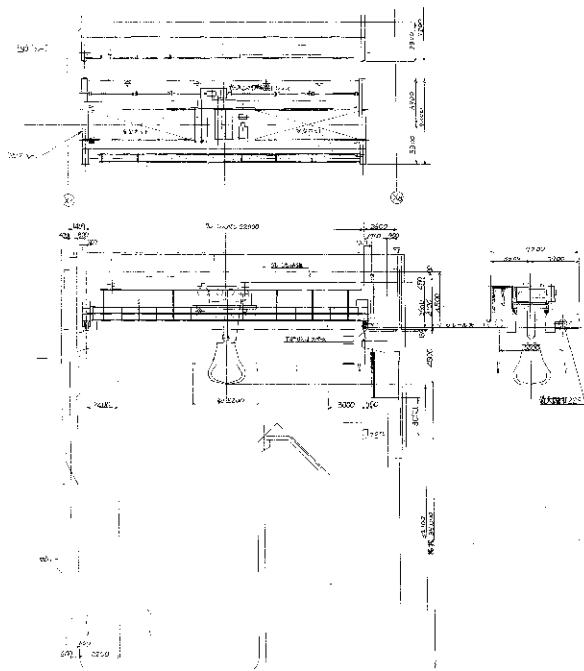


7階平面図





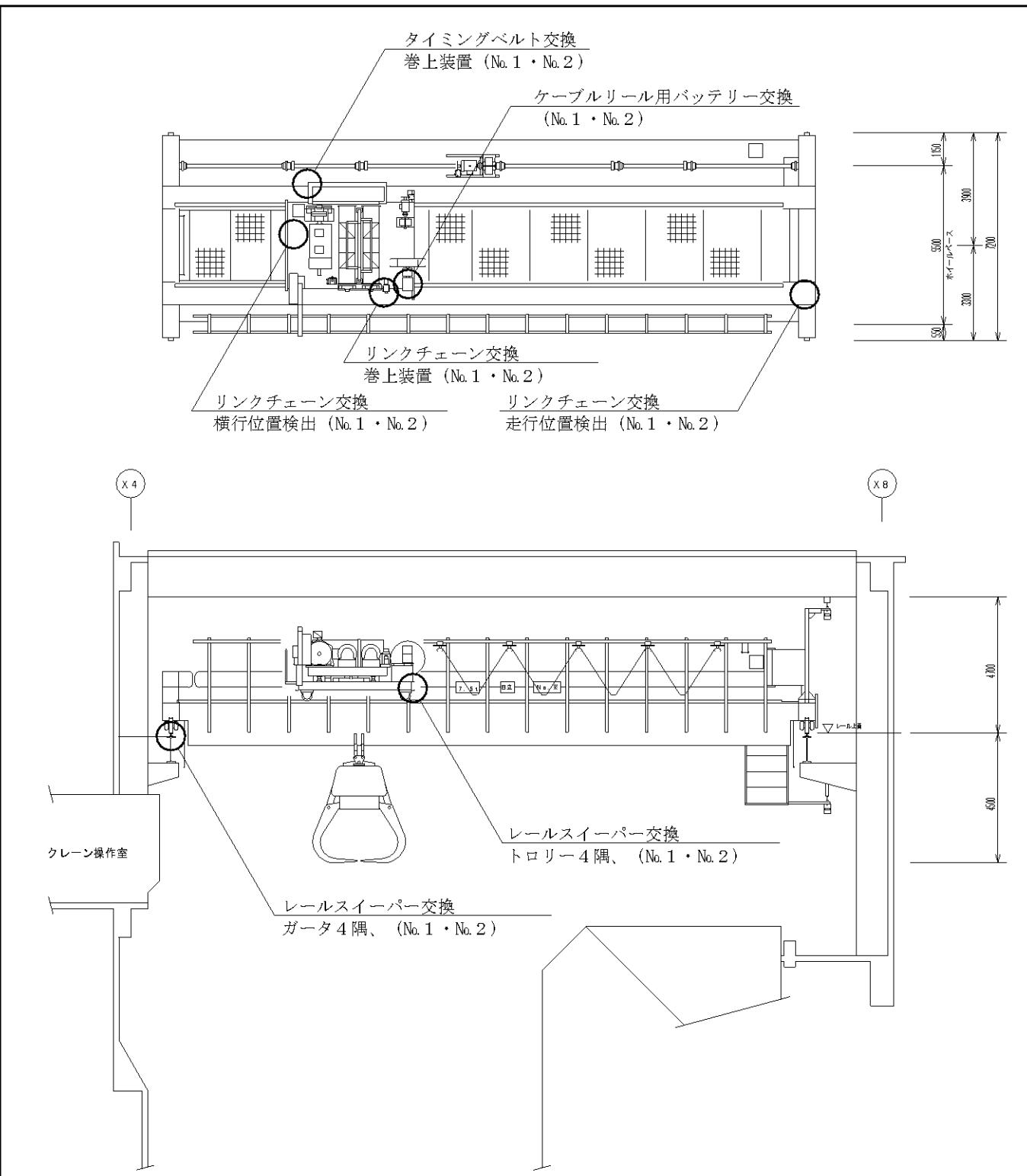
走行部



横行部

札幌市環境局環境事業部

課名	業務名	図番
駒岡清掃工場	駒岡清掃工場 クレーン設備整備業務	
図面名	ごみクレーン全体図	3

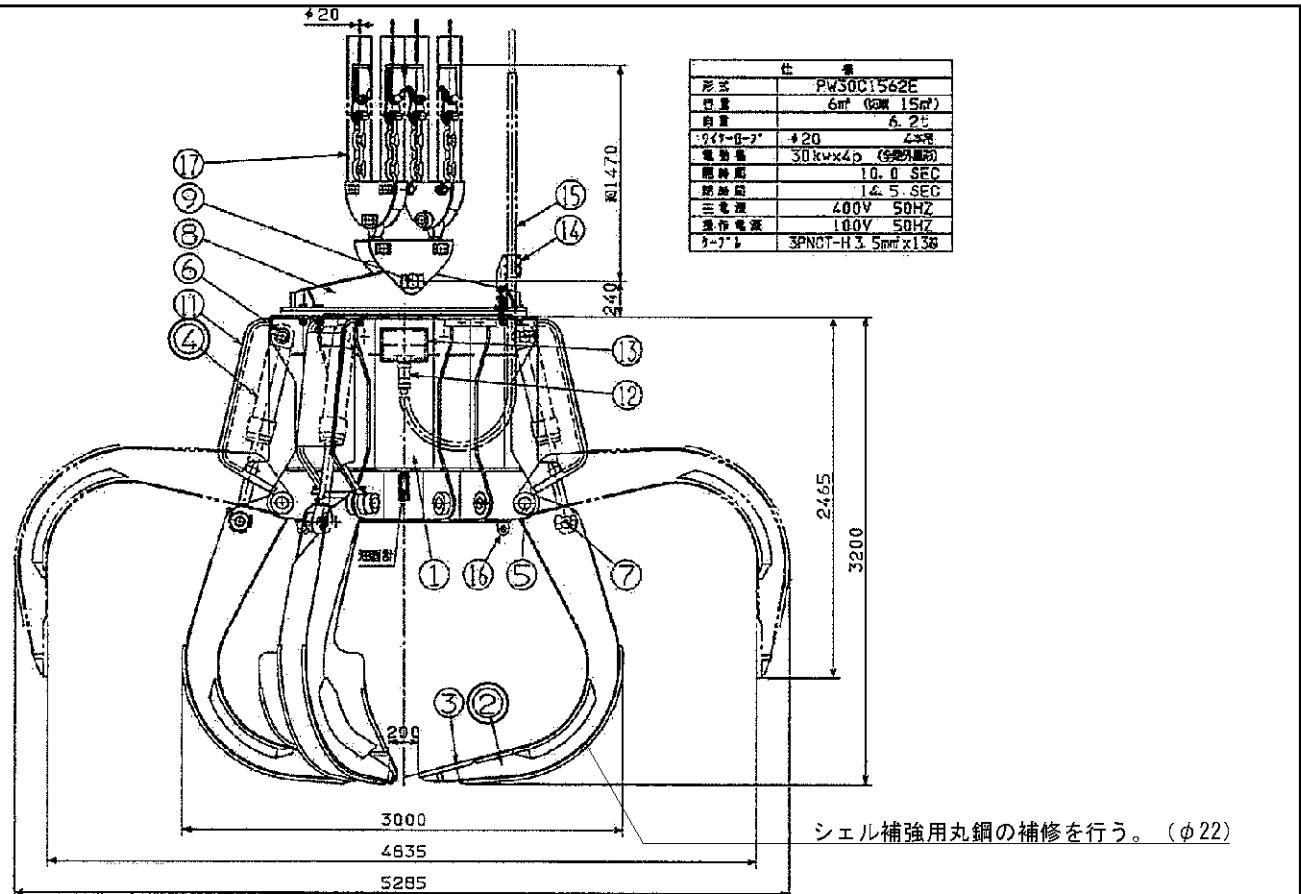


ごみクレーン交換部品 (No.1)

品名	規格・仕様	数量
レールスイーパー	横走行共通	8個
巻上フレキシバッド	IB30-253川	1組
タイミングベルト	直心力制限器用、Uタイプ T10-25-130	1個
乱巻き検出器	HS1-J	4個
リンクチェーン	RS40、巻上用ミネラル+位置検出器	3個
バッテリー、(タ-ブル型-B)	リチウムバッテリー AD-ABS-BT	1個
サー-ビモ-タ (タ-ブル型-A)	ADAG-135HF146-HK01	1個
サ-ボアンブ (ケーブル型-A)	ADAX-1-35UQE-HK1	1個
減速機 (ケーブル型)	AMH2-430S 3.5S	1個
フレキカップリングボルト	巻上装置	10本

ごみクレーン交換部品 (No.2)

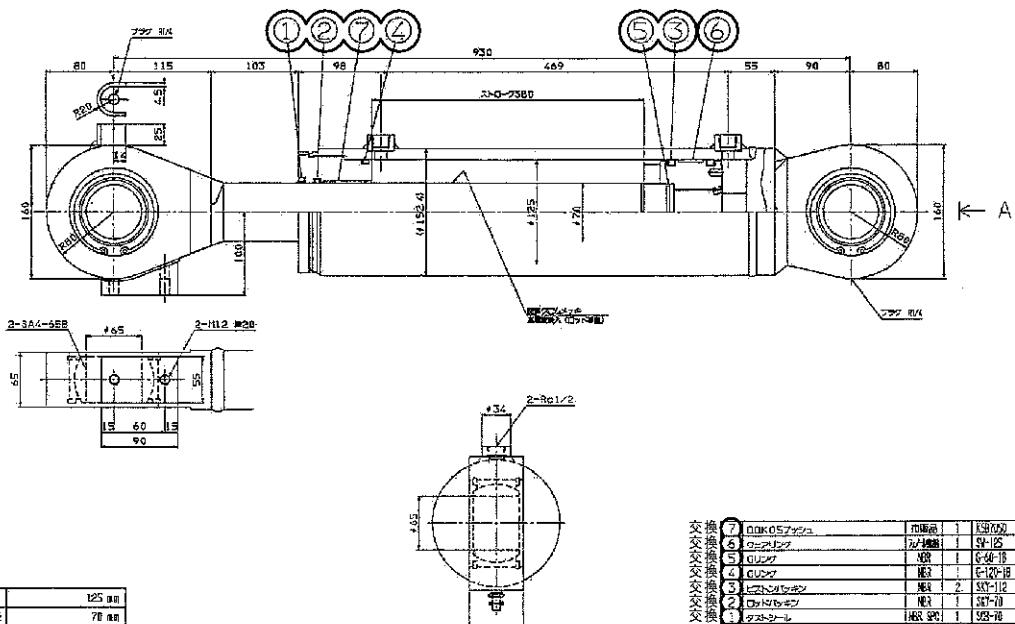
品名	規格・仕様	数量
レールスイーパー	横走行 共通	8個
巻上フレキシバッド	IB30-253用	1組
タイミングベルト	直心力制限器用、Uタイプ T10-25-130	1個
乱巻き検出器	HS1-J	4個
リンクチェーン	RS40、巻上用ミネラル+位置検出器	3個
支持ワイヤ	φ30×45.7m、Z巻、6ノドφ29.0種	2本
支持ワイヤ	φ20×45.7m、Z巻、6ノドφ29.0種	2本
ワイヤーカット	ナイフ・φ20用	4個
ワイヤクリッper	ナイフ・φ20用	8個
ホース保護ホース	PVC、150φ×1m	4本



	品名	規格	部品名	規格	部品名	規格	部品名	規格
13	給電口	SS400 1	6	シリンドリック	SCH440 6			
12	ケーブルコネクタ(插座)	1 CF65-14030	5	メインピン	SCH440 6			
11	シリングガード	SS400 6	4	油正シリンドラ	SS400 6	\$125x70x380st		
10	点火口	SS400 2	7	ツメ	SCH440 6			
9	センターピン	S45C-H 1	2	シェル	H500 SS400 6			
8	吊りビーム	SM490 1	1	フレーム	H500 SS400 1			
7	シリンドリック下	SCH440 6	品番	部品名	規格	付属	数量	
17	吊り具保型ホース	PVC 4 150x1m						
16	吊りビーム	SS400 4						
15	保護ホース	1 (供使用)						
14	ケーブル引合工具	SS400 1						

6本交換 (No.2)  
下図参照 (No.1・2)

6本交換 (No.2)

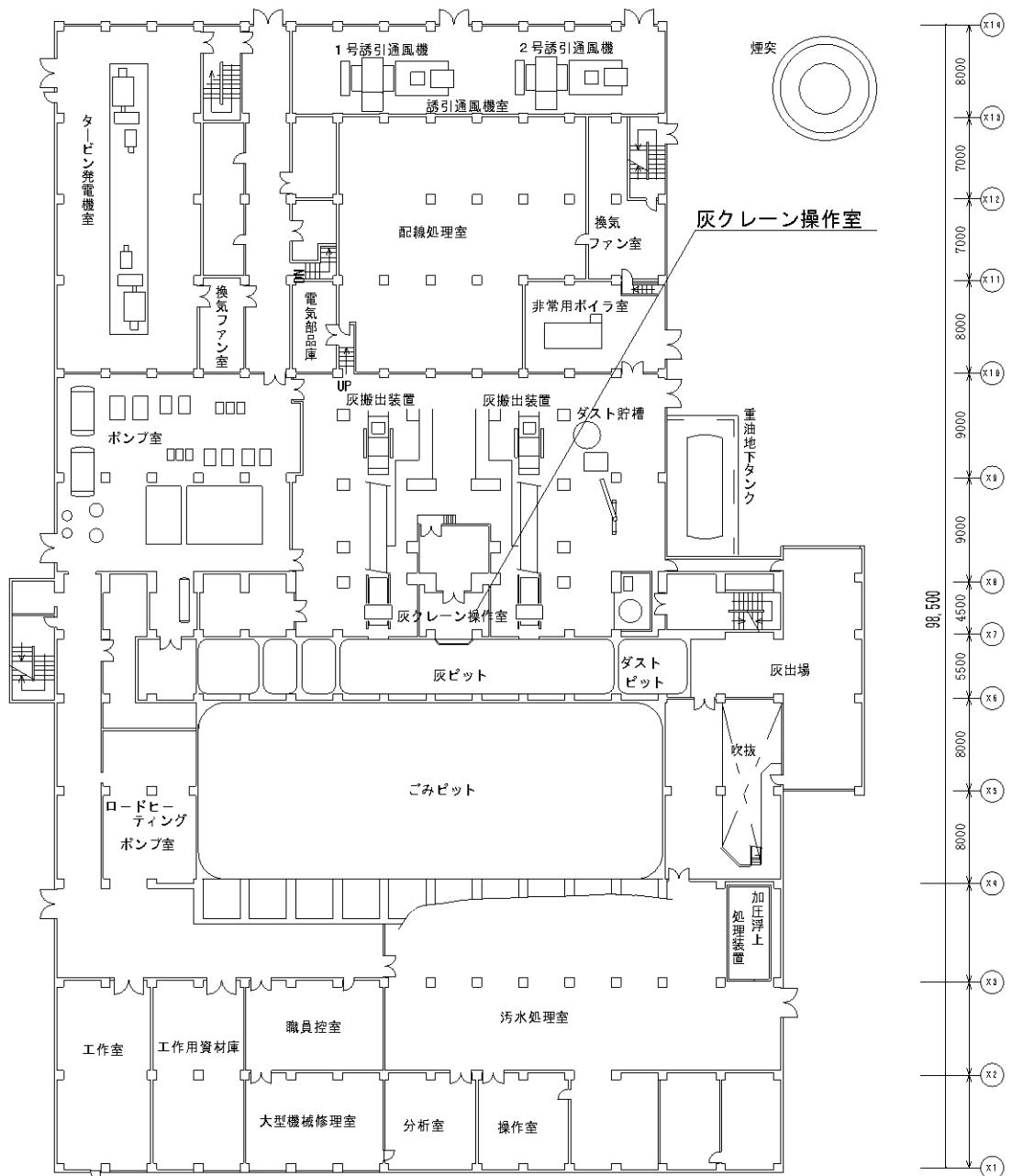


交換	⑦	00K05フランジ	規格	1	19702
交換	⑥	カニシク	規格	1	54-15
交換	⑤	シリンダ	規格	1	6-6-15
交換	④	シリンダ	規格	1	E-120-15
交換	③	ヒストリヤン	規格	2	53Y-112
交換	②	ヒストリヤン	規格	1	53Y-70
交換	①	タスクリー	規格	1	523-76
規格	品番	部品名	規格	付属	数量

※油圧シリンダパッキンセット  
No.1 : 6組、No.2 : 1組

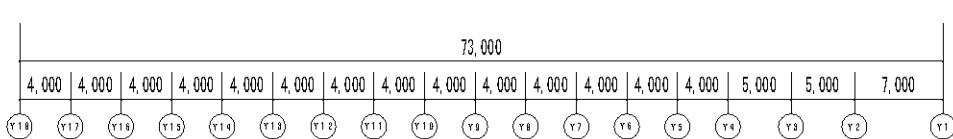
内径	125 mm
ロッド径	70 mm
ストローク	300 mm
駆動油圧	20.6 MPa
耐圧力	35.9 MPa
作動油	一般機械作動油
質量	KG83 kg

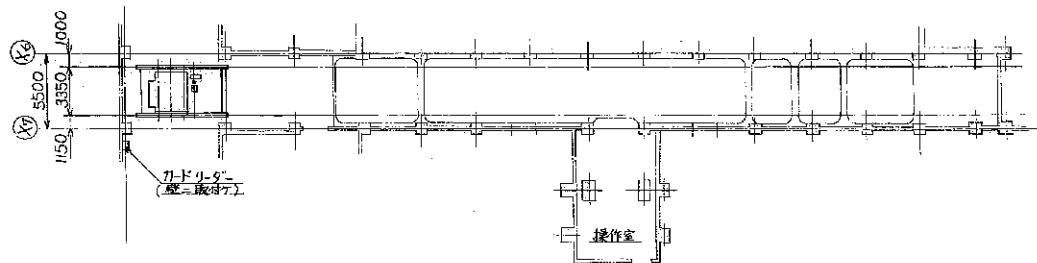
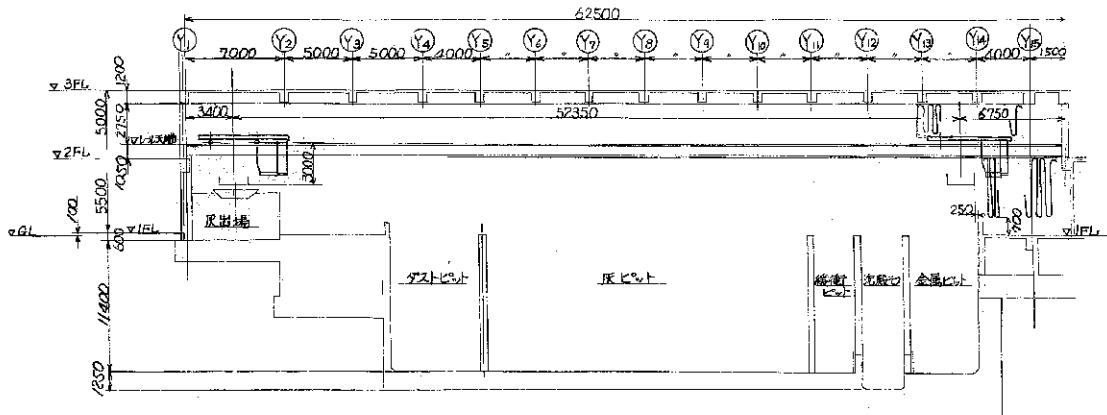




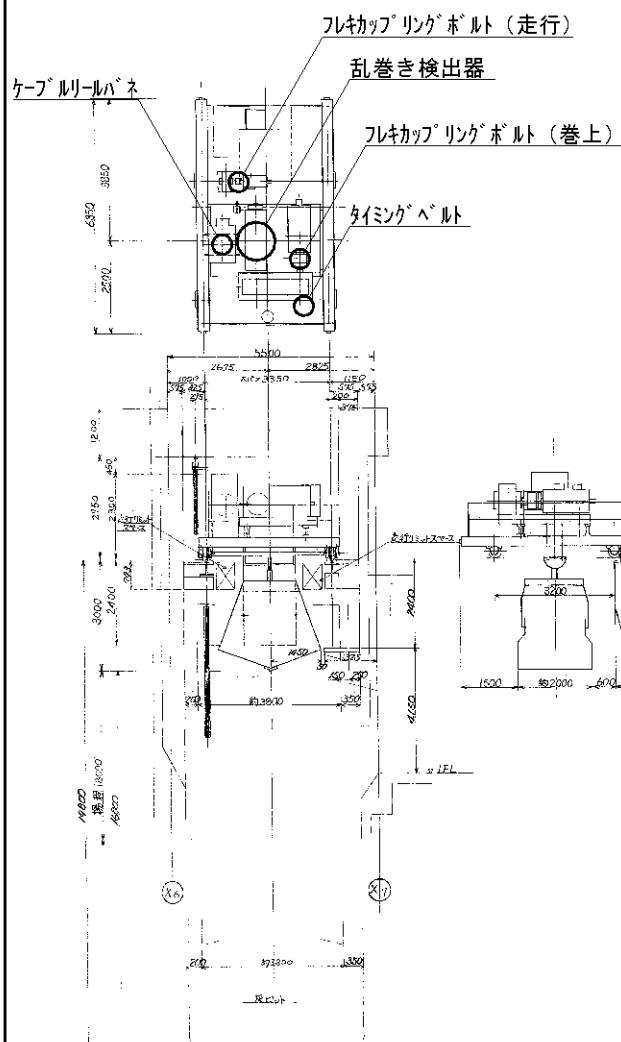
#### 灰クレーン操作室機器

- ・共通保護盤
- ・巻上開閉制御盤
- ・走行制御盤
- ・補助リレー盤
- ・共通操作盤
- ・巻上開閉操作卓
- ・走行操作卓
- ・抵抗器
- ・中継ボックス
- ・走行放電抵抗器





## 走行部



灰クレーン交換部品

品 名	規 格・仕 様	数 量
フレキカップリングボルト	本行用、M10	8本
フレキカップリングボルト	巻上装置	8本
タイミングベルト	速心力開閉器用、Jタイプ T10-25-105	1本
乱巻き検出器	H.SI-1	1個
ケーブルリリーバネ	D80E7用	7個
ワイヤー	φ 22.4 × 27.9m, S巻、6 × H(29)B種	1本
ワイヤー	φ 22.4 × 27.9m, Z巻、6 × H(29)B種	1本
ワイヤーソケット	T24-1605	2個
ワイヤクリップ	ワイヤー φ 22用	4個

## トロリ部

札幌市環境局環境事業部

課 名	業務名	図 番	
		駒岡清掃工場	SCALE
	駒岡清掃工場	図面名 灰クレーン全体図	8

